平成25年1月10日

各 位

上場会社名　株式会社 インターアクション
代表者　代表取締役社長 木地　英雄
（コード番号　7725）
問合せ先責任者　常務取締役 中瀧　明男
（TEL　045-788-8373）

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成24年７月12日に公表いたしました平成25年５月期第２四半期（平成24年６月1日～平成24年11月30日）（累計）連結業績予想を下記のとおり修正いたしますので、お知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成25年5月期第2四半期（累計）連結業績予想数値の修正（平成24年6月1日～平成24年11月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	562	36	41	39	490.38
今回修正予想(B)	453	10	16	87	1,094.62
増減額(B-A)	△108	△25	△24	48	
増減率(%)	△19.4	△70.9	△59.0	123.2	
（ご参考）前期第2四半期実績（平成24年5月期第2四半期）	477	67	68	67	921.14

修正の理由

当第２四半期連結累計期間の連結業績につきまして、当社グループの主力製品であるCCD及びC－MOSイメージャ向け検査用光源装置につきましては、計画通りで推移しております。一方、太陽光発電関連製品につきましては、国内において遊休地等の活用のため商品化した「OHISAMA　SYSTEM」の販売は好調に推移しているものの、「ソロモン諸島向けソーラーホームシステムによる過疎地域の電力化」プロジェクトについて、プロジェクトは開始したものの、ソーラーホームシステム2,000台の設置において、現地政府との協議により当初計画にない地域（島）への設置範囲の拡大等の計画変更があり、設置計画に遅延が生じたため、当初計画通りの設置完了には至りませんでした。

以上の結果として、売上高は453百万円（当初予想の売上高562百万円に比べ19.4%の減少）となりました。主として売上高の未達及び新規光源装置の研究開発費が当初予想より増加したため、営業利益10百万円（当初予想の営業利益36百万円に比べ25百万円の利益減少）、経常利益16百万円（当初予想の経常利益41百万円に比べ24百万円の利益減少）となりました。

一方、繰延税金資産の増加による法人税等調整額71百万円が利益増加要因となったため、四半期純利益は87百万円（当初予想の四半期純利益39百万円に比べ48百万円の利益増加）となりました。

このことから、売上高、営業利益、経常利益は当初予想を下回る見込みとなりました。一方、四半期純利益は、当初予想を上回る見込みとなりました。

通期の連結業績予想につきまして、光源装置につきましては、概ね計画通り推移しております。

太陽光発電関連製品につきましては、「OHISAMA　SYSTEM」の販売は好調に推移しております。また、「ソロモン諸島向けソーラーホームシステムによる過疎地域の電力化」プロジェクトについても、当第２四半期連結累計期間において設置計画の変更による遅延は生じたものの、既に変更された設置計画は承認され、承認に基く契約金260百万円も平成24年12月に入金済みであり、第３四半期連結会計期間以降において遅延による影響は解消される見込みであります。

以上の理由から、通期の連結業績予想については、修正はありません。

※上記の予想は本資料発表日現在において入手可能な情報から得られた判断に基づいております。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績は種々の要素によりこれらの業績見通しとは異なる場合があります。

以 上